

令和6年度全国乳児福祉協議会 事業報告

【重点方針】

1. 「乳幼児総合支援センター」の具現化と関係者への理解促進

- ・「乳幼児総合支援センター」の実現に向けた考え方の組織内外への周知、理解促進
- ・国における施設の機能・役割と人員配置基準、それらを支える措置費のあり方検討への対応
- ・市町村等との連携による地域の子育て家庭・妊産婦支援の推進

2. 乳児院における子どもの権利擁護の取り組み

- ・子どもの権利条約、こども基本法の理解促進
- ・被措置児童等虐待への対応強化
- ・子どもを主体とした養育の振り返りのための自己点検のあり方検討

3. 乳児院における養育の質の向上・支援の充実

- ・養育・支援の専門性向上のための研修など人材育成の取り組み
- ・処遇改善に向けた取り組み
- ・人材確保・育成・定着の取り組み
- ・乳児院養育指針の改訂

【総括】

令和6年度は、妊産婦等生活援助事業、家庭支援事業、里親支援センター等、令和4年改正児童福祉法で創設された各事業が施行されるとともに、各都道府県において、後期社会的養育推進計画の策定が行われた。

上記の制度動向をふまえ、全乳協では、社会的養育・家庭支援部会やこども家庭庁が実施した調査研究事業等に本会役員が参画し、重点方針である「乳幼児総合支援センター」の具現化と関係者への理解促進をめざし、乳児院の実態をふまえた意見出し等を行うとともに、こども家庭庁支援局家庭福祉課と乳児院のあり方に関して勉強会を3回行い、意見交換を行った。

乳児院におけるこどもの権利擁護の取り組みでは、こどもの権利を守るために気をつけたい言葉がけについて職員間で共有するためのツールを検討、リーフレット等の作成を行った。また、乳児院における養育の質の向上・支援の充実に向けて、乳児院が行ったアセスメント情報の共有を目的とした「一時保護アセスメント報告シート」を検討するとともに、変化する乳児院を取り巻く状況をふまえ、乳児院に求められている専門性等の観点から「改訂版 乳児院の研修体系」の見直しを行った。

【事業内容】

《諸会議の開催》

※（ ）内は開催回数

1. 協議員総会（1回）

第1回 令和6年5月16日（木）

- ・令和5年度事業報告(案)について
- ・令和5年度決算について
- ・令和6年度事業計画(案)について
- ・令和6年度予算(案)について
- ・全国乳児福祉協議会 令和7年度予算要望について

2. 常任協議員会（3回）

第1回 令和6年4月23日（火）

- ・令和5年度全乳協事業報告（案）・決算について
- ・令和6年度協議員総会の進め方（案）について
- ・令和7年度全乳協予算要望について
- ・都道府県社会的養育推進計画策定にむけた対応について

第2回 令和6年11月26日（火）

- ・乳児院をめぐる直近の情勢と対応について
- ・令和6年度全乳協事業進捗状況について
- ・令和7年度事業計画・重点事項等について
- ・令和8年度全乳協政府予算要望について

第3回 令和7年2月21日（金）

- ・令和6年度全乳協事業進捗状況・決算見込について
- ・令和7年度全乳協事業計画（案）・予算（案）について
- ・今後の協議員総会等の開催予定について
- ・令和8年度全乳協政府予算要望について

3. 拡大正副会長会議（5回）

第1回 令和6年4月23日（火）

- ・常任協議員会・ブロック協議会会長会議（令和6年度第1回）の進め方について
- ・令和5年度全乳協事業報告（案）・決算について
- ・令和6年度協議員総会の進め方（案）について

- ・令和7年度全乳協政府予算要望について
- ・都道府県社会的養育推進計画策定にむけた対応について

第2回 令和6年5月16日（木）

- ・令和6年度事業の進め方について
- ・その他

第3回 令和6年9月10日（火）

- ・乳児院をめぐる直近の情勢と対応について
- ・令和6年度委員会事業の進捗について
- ・第73回全国乳児院協議会について
- ・第2回乳児院のあり方勉強会への対応について
- ・その他

第4回 令和6年11月26日（火）

- ・常任協議員会・ブロック協議会会長会議（令和6年度第2回）の進め方について
- ・乳児院をめぐる直近の情勢と対応について
- ・令和6年度全乳協事業進捗状況について
- ・令和7年度事業計画・重点事項等について
- ・令和8年度全乳協政府予算要望について
- ・その他

第5回 令和7年2月21日（金）

- ・常任協議員会・ブロック協議会会長会議（令和6年度第3回）の進め方について
- ・令和6年度全乳協事業進捗・決算見込みについて
- ・令和7年度事業計画（案）・予算（案）について
- ・今後の協議員総会等の開催予定について
- ・令和8年度全乳協政府予算要望について

4. ブロック協議会会長会議（必要に応じ、常任協議員会と合同開催）

第1回 令和6年4月23日（火）

- ・令和5年度ブロック活動助成金使途報告について
- ・その他、各ブロックにおける今後の活動予定や共有すべき課題等について

第2回 令和6年11月26日（火）

- ・令和6年度ブロック活動状況報告について
- ・ブロック内における災害発生時の対応について

第3回 令和7年2月21日（金）

- ・各ブロックにおける今後の活動予定や共有すべき課題等について

5. 監査会（1回）

令和6年5月2日（木）

- ・令和5年度 全国乳児福祉協議会事業報告（案）について
- ・令和5年度 全国乳児福祉協議会決算について
- ・令和6年度協議員総会における監事監査報告について

6. 総務委員会（3回）

第1回 令和6年7月30日（火）

- ・令和6年度総務委員会事業の進め方について
- ・第73回全国乳児院協議会（令和6年度・秋田県）の企画について
- ・子どもの権利・最善の利益を保障するための取り組みについて
- ・令和6年度全乳協「永年勤続者表彰」の決定について

第2回 令和6年9月4日（水）

- ・第73回全国乳児院協議会（秋田県）の運営について
- ・子どもの権利・最善の利益を保障するための取り組みについて
- ・災害発生に備えた取り組みについて
- ・災害見舞金の支給について（沖縄県・吉水寮）
- ・費用弁償規則について

第3回 令和7年1月30日（木）

- ・令和7年度総務委員会の事業計画について
- ・第74回全国乳児院協議会（富山県）について
- ・子どもの権利・最善の利益を保障するための取り組みについて
- ・災害発生に備えた取り組みについて
- ・費用弁償規則について

7. 制度対策研究委員会（3回）

第1回 令和6年9月2日（月）

- ・令和6年度制度対策研究委員会の進め方について
- ・令和5年度全国乳児院入所状況実態調査・充足状況調査について
- ・乳児院のアセスメント力向上への支援
- ・その他

第2回 令和6年11月13日（水）

- ・乳児院を取り巻く制度動向について
- ・一時保護アセスメント報告シートのひな型について
- ・令和8年度予算等への要望書について
- ・令和6年度全国乳児院入所状況実態調査・充足状況調査について

第3回 令和7年1月8日（水）

- ・令和7年度制度対策研究委員会の事業計画について
- ・一時保護アセスメントシートのひな型について
- ・令和6年度全国乳児院入所状況実態調査・充足状況調査について
- ・令和8年度予算等への要望書について
- ・その他

8. 広報・研修委員会（3回）

第1回 令和6年6月6日（木）

- ・令和6年度事業について
- ・第67回全国乳児院研修会について
- ・令和7年度以降全国乳児院研修会の持ち方について
- ・第13回乳児院上級職員セミナーおよび第6回乳児院医療・看護セミナーの企画について
- ・乳児保育 No. 200/201 の企画について

第2回 令和6年10月25日（金）

- ・令和6年度広報・研修事業進捗について
- ・第13回乳児院上級職員セミナーについて
- ・第6回乳児院医療・看護セミナーの企画について
- ・乳児保育 No. 201 の事例の選定について
- ・改訂乳児院の研修体系の見直しについて

第3回 令和7年1月14日（火）

- ・ 令和7年度広報・研修委員会事業計画について
- ・ 第13回乳児院上級職員セミナー・第6回乳児院医療・看護セミナーの運営について
- ・ 第68回全国乳児院研修会の企画について
- ・ 乳児院の研修体系の見直しについて
- ・ その他

《総務活動》

1. こどもの権利・最善の利益を保障するための取り組み

- 各施設における権利擁護のための取り組みを参考に、こどもの権利を守るために気をつけたい言葉がけを職員間で共有するためのツールを検討し、「こどもの心を大切に～言葉選びのためのヒント～」としてリーフレットおよびポスターを作成した。

2. 乳児院における養育の質の向上と支援の充実に向けた振り返り

(1) 『乳児院における養育の質の向上と支援の充実』を実現するための行動方針』を踏まえた取り組みの促進

- 全社協 福祉ビジョン2020改訂検討委員会に横川副会長が参画した。

(2) 養育・支援の振り返り体制等の強化（自己評価、第三者評価事業の活用による養育・支援の質の向上）

- 「福祉サービスの質の向上推進委員会」児童部会社会的養護小委員会に栗延副会長が参画し、社会的養護関係施設第三者評価基準見直しに向けた検討を行った。
- 乳児院第三者評価基準見直しに係る説明会に総務委員会委員等が参加し意見を述べた。
- 令和6年度社会的養護関係施設 第三者評価事業「評価調査者」養成研修会において「乳児院の現状と今後のあり方」について栗延副会長が講義を行った。

3. 組織活動と連絡調整

(1) 運営内規、諸規則の管理

- 運営内規、諸規則に基づき協議会運営を行った。
- 物価高騰やインバウンドの増加にともない、近年宿泊費が高騰していることを受け費用弁償規則の見直しを行った。

(2) ブロック協議会活動への助成、情報提供等協力

- 「ブロック協議会助成金規則」に基づき、令和6年6月、6ブロックに対し計1,661,000円を助成した。
- ブロック協議会会長会議等により、各ブロック協議会との情報共有を図った。

(3) 乳児院における人材確保・育成・定着にむけた取り組みの検討

- 各県や施設で実施されている人材確保事業について情報交換し、会員への周知について検討を行った。
- 人材育成・定着にむけて行われた広報・研修委員会の「改訂版 乳児院の研修体系」見直しについて情報を共有した。

(4) 寄贈・寄付の調整・受け入れ等、企業等による社会貢献活動に対する協力

- 明治ホールディングス株式会社から全国の乳児院へのミルク寄贈の受け入れ調整を行った。(毎年継続)
- 日本ベビーフード協議会から全国の乳児院へのベビーフード寄贈の受け入れ調整を行った。(毎年継続)
- アマゾンジャパン合同会社と「乳児院支援プログラム」を立ち上げ、68施設の参加調整を行った。(毎年継続)
- ピープル株式会社から全国96か所の乳児院へ「純国産お米のおもちゃ」寄贈の受け入れ調整を行った。(新規)
- 株式会社ドミノ・ピザ ジャパンから全国56か所の乳児院へ「ピザ BENTO」寄贈の受け入れ調整を行った(継続2年ぶり)

(5) 乳児院への各種助成事業への対応

- 株式会社ストームレーベルズの寄付による「幼い子どものゆたかな育ち応援助成」(七五三のお祝い助成)への実施協力を行い、105施設に計12,554,885円を助成、468人の乳児院入所児を支援した。(毎年継続)

(6) 全乳協要覧の作成、配布

- 令和6年8月に会員施設およびこども家庭庁等関係機関に配布した。

(7) 全社協・退所児童等支援事業への参画

- 全国退所児童等支援事業連絡会に内藤総務委員長が参画し、オンラインサロン事業等への協力を行った。
- 日 時 ①第1回：令和6年12月24日（火）13:00～16:00
「子どもを支える施設のつながり」
②第2回：令和7年3月17日（月）13:00～16:00
「子どもからみたパーマネンシーの保障」
- 参加者 ①85名（うち乳児院参加者4名）②73名（うち乳児院参加者5名）

4. 「第73回全国乳児院協議会」（大会）の企画内容の検討と実施、参加促進

- 会 場：あきた芸術劇場ミルハス、秋田キャッスルホテル（秋田県秋田市）
- 期 日：令和6年10月10日（木）～11日（金）
- 参加者：237名（定員250名）参加費：18,000円
- プログラム概要：
 - ・ 全国乳児福祉協議会会長表彰（永年勤続者）
 - ・ 基調報告（全乳協・平田会長）
 - ・ 行政説明（こども家庭庁支援局 小松家庭福祉課長）
 - ・ 特別講演『始まりは母と子の絆から』（秋田市大森山動物園・小松園長）
 - ・ 鼎談『乳児院の変革と伝統～守るべきものと変えていくもの～』（子どもの虹情報研修センター・増沢副センター長、全社協・笹尾常務理事、全乳協・横川副会長）

5. 令和6年度全乳協会長表彰（永年勤続者）の実施

- 第73回全国乳児院協議会において、乳児院職員89名への永年勤続者表彰を実施した。

6. 災害発生に備えた対応

- 近年頻発する大規模な自然災害からこどもたちと働く職員を守るため、本会とブロック協議会の災害発生時の連絡体制について検討・整理を行うとともに、「全国乳児福祉協議会 災害時連絡マニュアル」の作成を行った。

《制度対策研究活動》

1. 「乳幼児総合支援センター」の具現化に向けた取り組み

(1) 「乳幼児総合支援センター」に対する理解促進への取り組み

- 令和6年5月に「乳幼児総合支援センター～乳児院の包括的なアセスメントを活かす支援体制～」を発行し、協議員、会員施設およびこども家庭庁等の関係機関へ配布した。

(2) 乳児院のアセスメント力の向上への支援

- 国の都道府県社会的養育推進計画策定要領にも乳児院がアセスメントの専門性を活かせる社会資源であると書かれたことをふまえ、その専門性を関係機関へ周知する方法について検討を行った。委員会内にワーキングチームを設置し、主に児童相談所に対し乳児院が行ったアセスメント情報を共有することを目的とした「一時保護アセスメント報告シート」のひな型を作成し、会員専用ページに公開した。

2. 国における社会的養護関係施設のあり方検討等への対応

- こども家庭庁支援局家庭福祉課と乳児院のあり方に関する勉強会を全3回行った。
第1回：令和6年7月1日 多機能化の方向性について
第2回：令和6年9月10日 高機能化の方向性について
第3回：令和7年1月21日 小規模化・地域分散化の方向性について
- NTTデータ経営研究所が受託実施している「里親・ファミリーホーム・施設の支援のあり方に関する調査研究事業」に大和副会長が委員として参画した。

3. 改正児童福祉法施行への対応

- 令和6年10月8日に開催された「全社協福祉懇談会」に平田会長が出席し、全養協・全母協と共同で「支援を必要とする子どもの健やかな育ちと権利をまもるために～社会的養護関係施設に関する要望～」の要望を行った。

4. 次期都道府県社会的養育推進計画の策定に向けた取り組み

- 令和6年4月に全乳協協議員を通じて「都道府県社会的養育推進計画の策定に向けた検討状況に関する調査」を行い、各都道府県における検討会等への乳児院の参画状況を調査し、その結果をこども家庭庁に共有した。
- 令和6年5月21日に開催された「「こども・若者」輝く未来創造本部」に「「経済財政運営と改革の基本方針2024」(骨太の方針2024)に向けた社会的養護分野からの意見」を全養協・全母協と共同で提出した。平田会長が出席し、社会的養育

推進計画の策定等、乳児院をめぐる状況について報告するとともに、参加した議員と意見交換を行った。

- 各都道府県で実施されている後期社会的養育推進計画案のパブリックコメントの内容分析を行った。

5. 調査研究の実施、公表、活用促進

(1) 「全国乳児院入所状況実態調査・充足状況調査」の実施

- 令和5年度の状況に関する調査について、多機能化事業専任の職員配置を確認する項目等を追加し、令和6年5月に実施した。調査結果を取りまとめた報告書を令和6年10月に発行した。

(2) その他必要に応じたデータ収集と関係調査への協力

- 令和6年4月に全乳協協議員を通じて「都道府県社会的養育推進計画の策定に向けた検討状況に関する調査」を行い、各都道府県における検討会等への乳児院の参画状況を調査し、その結果をこども家庭庁に共有した。(再掲)
- 子どもの虹情報研修センター実施の「乳児院において特別な配慮を必要とする子どもの実態調査—アタッチメントとトラウマ等の問題を抱えた子どもたち—」への調査協力を行った。
- 令和7年3月に全乳協会員施設に対し「令和8年度要望書作成にむけたアンケート」を行い、116施設からの回答を基に令和8年度要望書の詳細資料を作成した。

6. 政策・予算対策活動

(1) 令和7年度予算等要望の実施、翌年度予算要望の検討

- 令和6年4月23日付で、内閣府特命担当大臣に対し令和7年度全乳協政府予算要望を実施した。要望書はこども家庭庁支援局家庭福祉課に提出し、同日に意見交換を行った。
- 令和6年5月16日付で、内閣府特命担当大臣に対し全養協、全母協と共同で「令和6年能登半島地震により被災した施設の復旧に向けた緊急要望」を行った。
- 令和6年5月21日に開催された「「こども・若者」輝く未来創造本部」に平田会長が出席しヒアリングを受け「「経済財政運営と改革の基本方針2024」(骨太の方針2024)に向けた社会的養護分野からの意見」を全養協・全母協と共同で提出し、説明を行った。(再掲)
- 令和6年10月8日に開催された「全社協福祉懇談会」に平田会長が出席し、全養協・全母協と共同で「支援を必要とする子どもの健やかな育ちと権利をまもるために～社会的養護関係施設に関する要望～」の要望を行った。(再掲)

(2) こども家庭審議会等への参画

- 社会的養育・家庭支援部会に横川副会長が参画し、乳児院の実態等をふまえた意見出し等を行った。
- こども家庭庁が行う以下3つの調査研究事業に役員が参画し、乳児院の実態等をふまえた意見出し等を実施した。
 - ・ 「里親・ファミリーホーム・施設の支援のあり方に関する調査研究事業」検討委員会（大和 副会長）
 - ・ 「社会的養護施設における人材確保と効果的な人材育成・定着に関する調査研究」検討委員会（松尾 制度対策研究委員長）
 - ・ 「こども性暴力防止法における情報管理措置の基本的考え方に関する有識者検討会」オブザーバー（栗延 副会長）
 - ・

(3) 全社協・政策委員会、社会福祉施設等協議会連絡会等への参画

- 全社協の各種委員会等に役員が参画し、社会福祉をめぐる諸課題について関係種別協議会との協議を行った。（16 ページ参照）

《広報・研修活動》

1. 養育の質の向上等のための人材育成等の取り組みの強化

(1) 「乳児院養育指針」の改訂および普及と活用促進

- 310部を頒布した。
- 「第6版」の発刊は、令和4年改正児童福祉法の実施状況、各都道府県で策定された次期都道府県社会的養育推進計画、社会的養護施設第三者評価基準の見直し状況など、乳児院を取り巻く情勢の変化等を踏まえ、次年度以降も引き続き検討を進めることとした。

(2) 研修小冊子の普及による各地での研修実施の働きかけ

- 「改訂版 乳児院の研修体系」について、前回改訂時の平成27年度から変化した乳児院を取り巻く状況をふまえ、乳児院に求められている専門性等の観点から見直しを行い「第3版乳児院の研修体系」を発行した。

2. 養育・支援の専門性、子どもの権利擁護のための研修会等の開催

- 社会的養護処遇改善加算の対象研修の要件を念頭に企画、開催し、職員の養育・支援の専門性、権利擁護意識の向上を図った。

(1) 「第 67 回全国乳児院研修会」の開催

- 会 場：なら 100 年会館（中ホール）、ホテル日航奈良（奈良県奈良市）
- 期 日：令和 6 年 7 月 11 日（木）～7 月 12 日（金）
- 参加者：346 名（定員 250 名）参加費：18,000 円
- プログラム概要：
 - ・ 基調報告（全乳協・横川副会長）
 - ・ トークセッション「乳児院だからこそできる取り組みについて」（ファシリテーター：全乳協・大和副会長）
 - ・ 特別講演「母と子歴史のなか美術のなか追憶のなかの」（帝塚山大学 西山客員教授）
 - ・ 実践報告・研究発表
 - 「第 48 回（2023 年度）資生堂児童福祉海外研修報告」（日赤岩手乳児院 山口 氏）
 - 「ライフストーリーワークプロジェクト 3 年目ケース検討会議報告」（聖友乳児院 中山 氏、榎本 氏）
 - 「小規模ユニット養育を大家族の養育と見立てる中での取り組み」（新潟市立乳児院はるかぜ 一ノ瀬 氏、桐生 氏）
 - ・ 分科会
 - 第 1 分科会「包括的アセスメントを養育に活かすために」（子どもの虹情報研修センター 増沢副センター長）
 - 第 2 分科会「支援のつながりを意識したアフターケアにむけた取り組み」（日本福祉大学 河尻教授）
 - 第 3 分科会「保護者支援と子どもの意見の尊重を基盤とした親子の再出発」（NPO 法人チャイルド・リソース・センター 宮口代表）
 - 第 4 分科会「ミルクから離乳食への移行期を支える」（日本歯科大学附属病院 田村教授）

(2) 全国乳児院研修会のあり方の検討

- 令和 7 年度からは開催地を固定化することで会場規模や予算の見通しができ、プログラムの検討・準備に時間を使えるようにすることとした。これまで開催地元の乳児院が担っていた役割は、広報・研修委員会と全乳協事務局で担い、一部は、年度ごとに担当ブロックを決め、参加申込者の中で協力いただける方の調整を依頼することとした。

(3) 「第 13 回乳児院上級職員セミナー」の開催

- 会 場：中央福祉学院・ロフォス湘南（神奈川県三浦郡）
- 期 日：令和 7 年 2 月 26 日（水）～27 日（木）

- 参加者：84名（定員150名） 参加費：17,000円
- プログラム概要：
 - ・ 基調報告
 - ・ 講義・グループ討議「乳児院だからこそできる地域におけるこども家庭支援」（子ども家庭福祉研究・研修機構 西郷機構長）
 - ・ 講義「こどもに寄り添うアセスメント」（医療法人社団成仁成 仁病院精神科 医師 山崎氏）
 - ・ ケーススタディ「チームで事例を深める力」（医療法人社団成仁 成仁病院精神科 医師 山崎氏）

（4）「第6回乳児院医療・看護セミナー」の開催

- 会 場：中央福祉学院・ロフォス湘南（神奈川県三浦郡）
- 期 日：令和7年2月28日（金）
- 参加者：92名（定員150名） 参加費：13,000円
- 講 師：全乳協・大和 副会長
- プログラム概要：
 - ・ 講義「院内感染の実態と最新のワクチン情報」
 - ・ 事例共有「各乳児院における医療的ケア児の受け入れ」
 - ・ グループワーク「医療的ケア児の入所と退所」
 - ・ 講義「療育的医療におけるアセスメント」

（5）社会的養護を担う児童福祉施設長研修会の共催

- 会 場：東日本・全社協 灘尾ホール（東京都千代田区）
西日本・ホテルクラウンパレス神戸（兵庫県・神戸市）
- 期 日：東日本・令和6年11月27日（水）～28日（木）
西日本・令和6年12月10日（火）～11日（水）
- 受講者：504名（うち乳児院受講者82名）

（6）ファミリーソーシャルワーク研修会の共催

- 会 場：中央福祉学院（ロフォス湘南）
- 期 日：①令和6年9月10日（火）～9月11日（水）、②10月6日（日）～10月7日（月）、③12月4日（水）～12月5日（木）
- 受講者：①155名（うち乳児院受講者31名）、②190名（うち乳児院受講者35名）、③211名（うち乳児院受講者37名）

(7) 「子どもの虹情報研修センター」 研修事業への協力

- 都留広報・研修委員長が参画し、事業の企画・運営に協力するなど連携を図った。

(8) 「西日本こども研修センターあかし」 研修事業への協力

- 栗延副会長が参画し、事業の企画・運営に協力するなど連携を図った。

3. その他、乳児院に関する広報・啓発活動

(1) 機関誌「乳児保育」の作成と頒布普及（全施設対象／年2回／有償頒布あり）

- 「乳児保育」の年間特集テーマを「乳児院に出会えてよかったこどもたち」とし、各施設の取り組みを募集した。全国の乳児院から合わせて39件の応募があり、200号には「虐待・不適切養育に関するケース」6事例、201号には「医療的ケアに関するケース」6事例、それぞれ代表的な報告を選んで掲載した。
- 令和6年11月にNo. 200を発行した。
- 令和7年3月にNo. 201を発行した。

(2) 全乳協ホームページの管理運用

- 会員専用ページを活用し、会員施設等に向けた情報提供の充実を図った。

(3) 「全乳協ニュース」の発行（全施設対象／随時）

- 乳児院をめぐる情勢の動向や全乳協の対応・取り組みなどの情報を随時発信した（計12号発行）

(4) 「乳児院は赤ちゃんのもうひとつのあったかいおうち」の普及と活用促進

- 令和6年5月に、全乳協ホームページの「刊行物」のページに本パンフレットを掲載し、会員施設への周知を行った。

＜全国乳児院協議会・全国乳児院研修会 開催地一覧＞

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
協議会 (大会)	第 64 回 中国・四国 (高知県) * 永年勤続者表彰	第 65 回 関東・甲信越静 (新潟県) * 大臣表彰 * 永年勤続者表彰	第 66 回 九州 (宮崎県) * 永年勤続者表彰	第 67 回 東北・北海道 (北海道) * 永年勤続者表彰	第 68 回 東海・北陸 (三重県) * 永年勤続者表彰	第 69 回 近畿 (京都府) * 永年勤続者表彰
研修会	第 58 回 東海・北陸 (石川県)	第 59 回 東北・北海道 (岩手県)	第 60 回 中国・四国 (鳥取県)	第 61 回 近畿 (和歌山県)	第 62 回 関東・甲信越静 (山梨県)	第 63 回 九州 (沖縄県)
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
協議会 (大会)	(新型コロナ ウイルス感染 症をめぐる状 況から次年度 に延期)	第 70 回 関東・甲信越静 (東京都) * 大臣表彰 * 永年勤続者表彰	第 71 回 中国・四国 (香川県) * 永年勤続者表彰	第 72 回 九州 (長崎県) * 永年勤続者表彰	第 73 回 東北・北海道 (秋田県) * 永年勤続者表彰	第 74 回 東海・北陸 (富山県) * 永年勤続者表彰
研修会		第 64 回 (オンライン)	第 65 回 (オンライン)	第 66 回 東海・北陸 (岐阜県)	第 67 回 近畿 (奈良県)	第 68 回 東日本 (東北・北海道)

《全国乳児院研修会のブロック持ち回り》

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
研修会	東日本会場 東北・北海道 (第 68 回)	西日本会場 九州 (第 69 回)	東日本会場 関東・甲信越静 (第 70 回)	西日本会場 中国・四国 (第 71 回)	東日本会場 東海・北陸 (第 72 回)	西日本会場 近畿 (第 73 回)
(参考) 協議会	東海・北陸 (第 74 回)	近畿 (第 75 回)	中国・四国 (第 76 回)	九州 (第 77 回)	東北・北海道 (第 78 回)	関東・甲信越静 (第 79 回)

※協議会は 5 の倍数の開催回で大臣表彰、10 の倍数の開催回は関東甲信越静で行う

《児童福祉施設関係種別協議会との協働事業》

1. 児童福祉の課題や諸制度への対応
 - ・ 児童福祉関係種別協議会会長会議への参画と協働活動
 - ・ 必要に応じた合同会議の開催等
2. 社会的養護を支える施設長、職員のための研修
 - ・ 社会的養護を担う児童福祉施設長研修会の共催
 - ・ ファミリーソーシャルワーク研修会の共催

《全国社会福祉協議会との連携》

1. 全社協／理事会（総務部）
2. 全社協／政策委員会（政策企画部）
3. 全社協／福祉サービスの質の向上推進委員会（政策企画部）
4. 全社協／社会福祉施設協議会連絡会（法人振興部）
5. 全社協／社会的養護を担う児童福祉施設長研修会（児童福祉部）
6. 全社協／ファミリーソーシャルワーク研修会企画委員会（中央福祉学院）
7. 全社協／福祉施設長専門講座運営委員会（中央福祉学院）
8. 全社協／国際社会福祉基金委員会（国際部）
9. 全社協／退所児童等支援事業（児童福祉部）

《他団体との連携》

1. 健やか親子 21 推進協議会
2. 社会福祉法人福利厚生センター
3. 社会福祉法人横浜博萌会／子どもの虹情報研修センター
4. 一般財団法人あかしこども財団／西日本こども研修センターあかし
5. 公益財団法人全国里親会
6. 特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク

《こども家庭庁の審議会等》

1. こども家庭審議会